新規会員施設紹介コーナー

キラメキテラスヘルスケアホスピタル

いつまでも健やかに‥‥私たちの願いです

〒890−0051
鹿児島市高麗町43番30号
TEL 099-250-5600

2021年2月、堀江町から
旧交通局跡地に移転開院致しました

- 各診療科の専門の医師による外来診療や入院診療に加え、ワクチン接種、各種健康診断、人間ドックなども実施しています。
- 当院専門スタッフによる地域公開講座を定期的に開催しています。是非一度、ご参加ください。

【診療科目】内科、腎臓内科（人工透析）、肝臓内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、泌尿器科、皮膚科、リハビリ科
【受付時間】午前8:30〜12:00　午後13:30〜17:30　※土曜日は午前のみになります

お気軽にご来院ください

子育て中のみなさん、いらっしゃいませんか！

子育てサロン こあら

荒田校区社会福祉協議会主催で民生児童委員が中心となり、0歳から3歳までのお子さんとその保護者の皆さんを対象に、毎月第3水曜日に「子育てサロンこあら」を開いています。

季節の行事、絵本の読み聞かせや遊びを通して親子の交流、仲間づくり、情報交換等を行なっています。

自由に参加できますので、ぜひお子さんと一緒にご参加ください。お待ちしております。

主任・児童委員連絡先
外　美智子　256-5946
尾上　秀子　255-4306

場所：荒田1・2丁目公民館
時間：午前10:00 〜11:30
※駐車場はありません

祝 敬老の日

今年度も荒田校区社協から、80歳以上（令和3年9月現在）の高齢者にお祝いの黒砂糖をお届けしました。大正・昭和・平成・令和と続く時代を過ごされた高齢者の皆様に敬服します。

荒田1丁目

吉本 フク さん　93歳
長寿者総数 239名（80歳以上）

荒田2丁目

阿久根　ゑみ子 さん　88歳
長寿者総数 209名（80歳以上）

高麗町

下野　ヒロ子 さん　84歳
長寿者総数 236名（80歳以上）

あらた校区社協だより

明るく 住みよい 福祉のまちづくり あらた

荒田校区社会福祉協議会
会長 今吉悦朗
TEL 099-254-5800
編集・発行事務局
TEL 099-252-7921

会長あいさつ

会長　今吉悦朗

昨年末には収束しつつあるかに思えたコロナ禍が、年明けには変異株が爆発的な広がりを見せています。コロナ禍が始まり丸二年、まだ当分はマスク、手洗い、蜜を避けるなどの基本的な感染対策を講じる必要がありそうです。

校区社協の活動も、その時々の感染状況を見ながら実施してまいりました。私たちの生活も、ここまで自粛生活を余儀なくされてきました。しかしながらこの不自由な生活を、新しい生活様式として、前向きに捉える考え方も生まれてきているようです。

今年は、寅年。干支では「壬寅（みずえのとら）」。「壬寅」には「陽気を孕み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、力強く成長していく年になるといわれているそうです。干支の持つ力に、大いに期待をしたいと思います。

鹿児島キリストの教会から お米のご寄付

唐川牧師様より「荒田校区の方に役立ててほしい」と、民生・児童委員の山内ヨシエ会長へ、お話があり、令和3年12月6日校区社協に沢山のお米を寄付して頂きました。

民生・児童委員皆様の協力により、高齢の方々、買い物に行くのが少し困難な方々にお届けしました。

皆さんにとっても喜んで頂きました。

安心して暮らせる福祉のまち　荒田校区を目指して　よろしくお願いします

令和3年度荒田校区社会福祉協議会　福祉委員

会長　今吉悦朗
副会長　増田勝彦
副会長　黒木克宜
副会長　酒匂秀敏
事務局長　岩元流子
会計　鏑流馬朗子
監事　中間さよ子
監事　生見勝次

福祉委員
（荒田小学校教頭）山元知史
（一丁目女性部長）高吉葉子
（二丁目女性部長）深江ひろ子
（高麗町女性部長）中村圭子
（二丁目青雲会会長）佐藤辞
（高麗町カトレア会会長）中山和子
（荒田やよい会副会長）鬼丸良子
（荒田小家庭教育学級長）山﨑実季
（荒田小PTA会長）岩坪克弥
（荒田校区あいご主事）原口透
（校区あいご会会長）黒岩賢彦
（甲南中PTA副会長）鵜木達巳
（荒田消防団代表）吉見賢二郎
（慈愛の郷）樋渡広志
（グループホームあらた）上高原光介

みんなで気にかけよう！「見守り活動」

※鹿児島市社会福祉協議会発行の「見守り活動の手引き」より抜粋

少子高齢化が進むなか、単身世帯や老老世帯の増加や地域との繋がりが希薄化しています。その中で、私たちの地域では、認知症高齢者・介護や子育てのダブルケア、雇用形態や生活スタイルの変化などから、生活困窮者の増加など、周囲から孤立してしまう「つながりのない人々」が増えています。荒田校区社会福祉協議会は、さりげなく見守っていく、見守りネットワークづくりを進めようとしています。見守り活動は、支え合い・助け合いの輪をひろげることで、誰もが安心して暮らしていける福祉のまちづくりに大きな成果を果たすものと考えています。

ステップ1　声かけ
- あいさつをする
- 声をかける

ステップ2　つながる
- 顔の見える関係
- 話し相手に
- 気にかける
- ほんの少しの手助け

ステップ3　気づく
- いつもと違う
- 様子が変だなと感じたら

ステップ4　つなげる
- 適切なところへ相談・連絡（救急・警察・地域包括支援センター・児童相談所等）

いつもと違う点に気づいたら

まずは相談！抱えこまずに、近くにいる人、町内会の役員さんや民生委員・児童委員さんに相談してみましょう。

荒田地区民生委員・児童委員名簿

	氏名	電話		氏名	電話		氏名	電話
荒田二丁目担当委員	大山 美和子	255-8367	荒田二丁目担当委員	山内 ヨシエ	252-5531	高麗町担当委員	岩元 流子	252-7921
	成長 涼子	253-9097		末吉 美奈子	250-9026		高山 玲子	254-7021
	中間 文子	256-5057		生見 勝次	254-7938		竹本 雅子	253-0194
	東 義昌	252-3971		新穂 フサ	256-5943		中村 圭子	250-2182
	鏑流馬 朗子	256-8765		佐藤 信子	250-1273		山元 忠男	254-3682
	中間 さよ子	254-1517		山下 照代	254-3736	主任児童委員 校区全域	外 美智子	256-5946
	松田 導枝	254-3789					尾上 秀子	255-4306

民生・児童委員　退任しました。　福山 知子さん（荒田２丁目）

民生・児童委員を拝命して約10年程になりますが、このたび転居の為、退任することになりました。民生・児童委員になって嬉しかったことは、地域の方々とお知り合いになれたこと、同じ志を持って力を尽くす仲間が出来たこと、又、社会福祉について施設見学を通して学べたこと等々、まだ数えきれない程あります。そして苦労したことは、やはり相手の心の内を話して貰うのには時間と根気が必要だったことでしょうか。まだやり残したことや気がかりなことも沢山あるのですが、あとは後任の方へバトンをお渡して、担当地区の方々のことをお願いするばかりです。長い間、地域の皆様や、同じ民生・児童委員の方々に支えていただき誠に有難うございました。

民生委員活動への想い

荒田地区民生委員・児童委員
山内ヨシエ

荒田地区民生委員・児童委員協議会は、荒田1丁目、2丁目、高麗町からなり、地域を担当する19名の委員と、児童のことに係わる主任児童委員2名で活動しています。

地域を担当する委員は、地域の方々との関係を築き「こまりごと」をお話いただけるようにと活動しています。

「こまりごと」を解決する為に、相談者と話し合いながら、関係機関の力を借りる「つなぎ」役です。この時知った「情報」は「守秘義務」を強く指導されています。

厚生労働大臣の命を受け、1期3年の活動をしていますが、今年の11月末には、21名の任期が終り、その中の7名は、定年退職をします。後任のお願いをすると「大変そうだから」とか「忙しいと聞くから」とお断りされると、そういうふうに思わせている自分の活動を反省しています。

色々な事例には、経験したことのある委員が相談にのり、新任委員の活動には、近くの委員が寄り添います。

現委員からは「委員をやってよかった」「知り合うこともなかった皆さんと、一つのことを語りあえる活動ができる」と聞くことも多いです。また地域の方々から「ありがとうね」「またきてね」と言っていただく時に「委員をやっていてよかった」と思います。

問題が改善することは、嬉しいことです。同時に関係が築かれつつあることが喜びです。

民生委員さんにとお声がかかるのは、地域の方々からの推薦をいただいてのことです。

1期3年、自分の地域を知る機会にもなると思えます。

定年を迎えようとする今、活動は自分のためであったのだと思えます。

荒田校区社協の介護講習会　学びましょう！介護予防・食事について

令和4年1月14日、介護講習会が開催されました。日本赤十字社鹿児島県支部、健康生活支援講習指導員　砂原加津代先生をお招きして、介護予防と食事についての講話がありました。

誰しも年をとると、体の機能の低下に伴い、食生活上でも色々な工夫が必要になることから、介護する側、介護を必要として受ける側の立場になって、基本的な知識を知り、実物を目にして技術を学びながら、安全に美味しく食べることの大切さを再確認しました。

最後に赤十字社のかわいいマスコットキャラクター「ハートラちゃん」のお箸袋の折り方を教えてもらいお土産として持ち帰りました。

砂原先生、ありがとうございました。